

パブリックメディア型観光情報誌

るもい食楽歩

RUMOI CLUB



2015.10
vol.15



はじまりの縁^{えん}

Contents

- 3 はじまりの縁^{えん}
再び会う日まで／導かれて／共生をめざして
- 9 コラム『羽幌炭砒と私』
- 10 オロ坊が案内する体験観光
「天売島漁船クルーズ」と「アンモナイトクリーニング」
- 12 道の駅で一休み
「道の駅ほっと♡はぼろ」^{うみどり}「北海道海鳥センター」
- 13 【ローカルキャラ図鑑】
オロ坊 [羽幌町]
- 14 イベントカレンダー 10月・11月

📷 Photo Gallery



はぼろバラ園

道の駅ほっとはぼろ内にあるバラ園。最盛期は7月中旬から8月初旬ごろまで。北方系を中心に2000株、約300種類のバラが季節を彩る。せせらぎの丘の上には愛の鐘がある。
(施設情報 P12参照)



天売島の夏を満喫する
「ふくしまキッズ」



はじまりの縁^{えん}

天売島と焼尻島

二つの島を有する羽幌町。

海と縁に囲まれた三つの地には、自然の中で人や鳥や動物が共生する。

めぐりあう縁

人と人、人と自然の間

新しい関係の縁がはじまる。

ここで生まれた縁をつないだその先に可能性を秘めるマチ、羽幌町。

再び会う日まで

海鳥の楽園と称され、ウミガラス（オロロン鳥）などの繁殖地である天売島。周囲12キロ、人口約350人の島に「ふくしまキッズ」を招いたのは平成26年の夏。「ふ



歓迎の気持ちを上げて子供たちを迎える天売島の人々

くしまキッズ」は、震災の影響で当たり前の夏休みを過ごせずにいる福島県の子供たちを全国各地で受け入れるサマーキャンプだ。受け入れたまちづくり団体「一般社団法人・天売島おらが島活性化会議」の坂本学さんたちは、島の協力を得て子供たちを迎え入



島の協力があってこそ成功と語る坂本さん。「(一社)天売島おらが島活性化会議」では、ウニの缶詰などの企画や、島外のイベント出店で島のPR活動を行っている。詳しくはFacebookで。

天売島おらが島活性化会議 フェイスブック

https://www.facebook.com/teuri.oragashima



天売島ロンババの浜で海水浴。水遊びに大はしゃぎの子供たち

れた。30人余りの子供たちと島民との交流は皆の心温まる思い出となった。そして、今年の夏、再び子供たちを迎えた。坂本さんは、生まれ育った自慢の島で笑顔ではしゃぐ子供たちの姿を見て、自然を求める子供たちの希望に応えようと全力で向き合った。

子供たちとの別れの日、急用で早朝に宿舎を出る坂本さんを、3人の子供たちが見送ってくれた。

「来年もおいで」

「うん、来る！」

素直な言葉に坂本さんの目頭が熱くなった。来年の再会と新たな出

会いに、坂本さんの胸は期待で膨らんでいる。

羽幌町地域おこし協力隊の永山

あいさんは、羽幌町の自然に憧れて道央の恵庭市から移り住んだ。接客業の経験がある永山さんは、

協力隊員として市街地区を担当し、マチをもっと元気にする方法を探している。

今年の夏、留萌管内の自然や産業を生かして子供たちの体験学習を促す「るもい地域子ども農山漁村交流推進協議会」の一員になり、



バーベキューの材料は天売島の美味しいものがたっぷり



大物が釣れるのを期待して釣り竿をしっかりと握って待つ



坂本さんを見送った3人のうち1人は2年連続で天売島にやって来た



気付けば子供たちと一緒に思いきり楽しんでしまっていたと笑う永山さん

導かれて

「ふくしまキッズ」と関わった。親元を離れた子供たちの心のケア役のため、永山さんは母親的存在で寄り添い見守った。

「今度あの子たちに会ったら、何も言えずに泣いてしまうかも」すっかり情が移ってしまつたと微笑む永山さんは、羽幌町に移住したことで出会えた子供たちと、いつか再会できることを信じている。

何年か後、成長した子供たちが坂本さんと永山さんの元を訪れるかもしれない。思いを伝える術は言葉だけではないはずだ。ふたりが作つた見えない縁は未来へとつながっていく。

「学生時代に訪れたときには焼尻の良さが全然わからなかった」

あの頃から8年が経つた今、兵庫県出身の奥野真人おくのまさとさんは、羽幌町地域おこし協力隊の焼尻地区担当として島に住む。

焼尻島は天売島とほぼ同じ面積で、国の天然記念物・イチイの原生林が茂る緑の島。

「ここなら自分だけにできる大切な役割が見つかるかもしれない」60島の島を巡つた奥野さんが焼尻を選んだのは、島の魅力を伝える情報量

を増やしたいと思ったからだ。

協力隊員として2年目の夏を過ごす奥野さんは、住んでみて初めてわかつた焼尻の魅力を具体化していきたいと考える。海と生きる島民の姿に習つて海藻拾いをする奥野さんには、島の季節の移り変わりの素晴らしさが見えてきた。



すっかり島民に馴染み、本音を話せる仲間もできたと話す奥野さん

焼尻島地域おこし協力隊（焼尻なう）フェイスブック
<https://www.facebook.com/yagishiri>

共生をめざして

環境省・自然保護官の竹中康進たけなかやすのりさんは、2年前に道東の釧路市から羽幌町へ転動してきた。北海道海鳥センターうみどりに籍を置き、天売島で繁殖する絶滅危惧種のウミガラスやケイマフリなどの海鳥の保護

この春夏秋冬の焼尻の魅力を伝えようと、無料ツアー「やぎしり島HIKEハイイク（俳句）」を企画。参加者がガイド役の奥野さんと島内

を回り、感想を俳句にしたためのハイキングと俳句をかけた試みだ。奥野さんはツアー約20回分の

俳句を、フェイスブックで一部紹介している。「焼尻の良さがわかる。楽しそう！」と反応は上々だ。

「将来の目標は宿を開くこと、できればここで」緑に導かれた島で縁を導く人になろうとしている奥野さんだ。



冬の海藻採りは凍てつく空気の寒さと海水の冷たさとの闘い



夏過ぎて
オンコ実ゆらす 雨しづく

奥野さんが企画した「やぎしり島HIKE」で参加者が読んだ焼尻を表す俳句の数々



海に立ち
暮らし支える 腕ひとつ



背丈ほど
ある草かき分け 探検隊



天売猫の取り組みを行うことで、野生動物と人のつながりを考えさせられると語る竹中さん

を行っている。

「海鳥を守るには、海鳥を取り巻く環境を保全しなければならぬ」と語る竹中さん。天売島では野生化したノラネコ（天売猫）が海鳥の繁殖に影響を与えており、その対策に羽幌町役場と共に取り



今までに捕獲された約100匹の天売猫は、動物愛護NPOや北海道獣医師会などの協力で馴化し、譲渡会などで里親を探している(今までに約40匹が譲渡されている)
※馴化・・・人に慣らすこと

組んでいる。

ノラネコは住居侵入など鳥民生活に影響を与えるほか、冬になると寒さも厳しく猫にとつても暮らしづらい環境だ。現在、竹中さんは多くの関係者と共にノラネコを捕獲し、馴化を施して里親を探す流れを確立しつつある。



「馴化中の天売猫には海鳥センターで会うことができます。ぜひ天売猫の飼い主になってください」と話す竹中さん
北海道海鳥センター ホームページ
http://www.seabird-center.jp/ (P12参照)

ら、猫を目的に訪れる町民や観光客が増えた。「身近な猫の問題をきつかけに、海鳥の保護について関心を持ってもらえれば」と竹中さんは話す。

「海鳥と人と猫との共生をめざして、これからも多くの人たちと連携していきたい」竹中さんは人と自然をつなぐ自然保護官としての使命を、強く感じている。

羽幌市街と天売島、焼尻島。三つの土地柄を生かした地の縁を結ぶ人々がいる。結んだ縁を育み未来へ受け渡すために。

コラム

羽幌炭砒と私

羽幌炭砒閉山四十五年記念シンポジウムが九月二十七日に開かれました。羽幌炭砒に縁のある人々、鈴木商店記念館の関係者など、道内外より二百余名が参加しました。

生まれも育ちも羽幌町の私ですが、幼い頃、スキーのジャンプを通じて羽幌炭砒の人たちと知り合うことが出来ました。かつて炭砒には野球部、スキー部、バレー部などがあり、中でもスキーのジャンプ選手は日本のトップレベルでした。私はその人たちに憧れてジャンプを始めたのです。

トップレベルの技、人柄など見本となる人たちが近くに居ること、その手本に向かって努力できたことが、今考えると恵まれた環境であったように思います。

そのような優秀な人たちは偶然に集まったのではなく、羽幌炭砒の親会社、鈴木商店の人材が生み出したもので、その歴史背景には壮大なものがあります。シンポジウムではこの辺りのことも紹介されました。

羽幌炭砒の最盛期には、一万三千人もの人々が暮らしを営みました。操業は三十年間という短い間でしたが、多くの人たちと出会えたことに感謝しています。

歴史は道標となり勇氣と希望を与えてくれます。インターネット上の「鈴木商店記念館」を検索してみると、より深く羽幌炭砒のことを知ることができるようでしょう。



動画館るもい座
「ひっそり眠る炭砒跡」
HP <http://www.rumoiclub.net/rumoi-sasurai/>

※大正6(1917)年、「総合商社・鈴木商店」は日本一の総合商社となった。
鈴木商店記念館HP
HP <https://www.facebook.com/yagishiri>



羽幌炭砒大同窓会 事務局長
菊地 瞳

下ジャツのマークはレールとツルハシを合わせた羽幌炭砒鉄道のもの

アンモナイトクリーニング

宿泊者限定



羽幌遊歩ユースホステル
宿泊者限定プログラム

羽幌遊歩ユースホステル



ユースホステルに泊ると、羽幌町で発掘されたアンモナイトのクリーニング体験が無料でできる。ノジュールから石や泥を取り除いて、アンモナイトの化石を掘り出そう。

基本情報

羽幌遊歩ユースホステル

〒 苫前郡羽幌町栄町260

☎ 0164-62-2146

📄 宿泊【一般】大人4,000円/小中学生/3,500円/幼児1,600円
【会員】大人3,400円/小中学生/2,900円/幼児1,600円
※チェックイン15:00/チェックアウト10:00

🍽️ 食事【朝】700円【夕】1,200円 暖房料200円(冬期間)

🌐 <http://www.atloop.net/ororon/>

ひとりでも家族連れでも気軽に泊まれる、小高い丘の上に建つ海も見える宿。中に入るとアンモナイトの化石が飾られている。



ノジュールとは、泥や砂粒が炭酸カルシウムなどで硬く固められたものだオロ。



羽幌町郷土資料館にもアンモナイトの展示がある。

羽幌町郷土資料館

〒 苫前郡羽幌町南町20番地の1

☎ 0164-62-4519

📅 開5月～10月 月曜休館

📄 料入館料210円

天売島漁船クルーズ

漁船による観光クルーズ



栄丸

第十八明進丸

天売島の海を知り尽くした地元漁師たちの案内で巡るクルージング。漁船が観光船に、船長がガイドに早変わり。海上から見る島の絶景を楽しもう。

基本情報

天売島一周コース・天売島赤岩往復コース(各90分)

📄 料 大人3,000円/小学生1,500円/未就学児無料

📅 平成28年の運航は5月～9月の予定

- 民宿・観光船「栄丸」 網野船長
☎ 090-8425-9859
(定員12名 3名から運航)
- 観光船「第十八明進丸」 三浦船長
☎ 090-5954-5089
(定員12名 3名から運航)
- 天売島観光案内所
☎ 01648-3-5401
(4月下旬～8月末)

羽幌町から天売島までは羽幌沿海フェリーに乗って行くオロ。



羽幌沿海フェリー

〒 苫前郡羽幌町港町1丁目51番地

☎ 0164-62-1774

🌐 <http://www.haboro-enkai.com/>

羽幌町と天売島・焼尻島をつなぐフェリーと高速船が運航。フェリーの発着時間に合わせて、沿岸バス本社ターミナルとフェリーターミナルを結ぶ「羽幌港連絡バス」も運行していて便利だ。



オロ坊が案内する体験観光
「天売島漁船クルーズ」と
「アンモナイトクリーニング」



船上から断崖絶壁や海面すれすれを飛ぶ海鳥が見られる「天売島漁船クルーズ」と、学生や化石ファンに人気の「アンモナイトクリーニング」をご紹介します。

羽幌管内で活躍中のご当地キャラクターを紹介!!

ぼ う
オロ坊 【羽幌町】



「原動機付自転車用のナンバープレートもあるオロ」



「外に出ていろいろイベントに参加してPRするオロ」



「イベントで配布されているノート（オロロン帳）とクリアファイルは非売品だオロ」



「オロ坊せんべいは道の駅と梅月、キーホルダーは道の駅で販売してるオロ」



梅月

住 苫前郡羽幌町南大通 2 丁目
☎ 0164-62-2272



「オロ坊焼きが販売中だオロ。イチゴシロップに予約してオロ」
イチゴシロップ (Ichigo syrup)
住 苫前郡羽幌町南大通 5 丁目
☎ 0164-62-3476

プロフィール

羽幌・haboroのローマ字を右から読むとorobah。「オロロン鳥」の「オロ」と男の子で「オロ坊」。
性別：オス
職業：羽幌町の観光を盛り上げるためにイベントに出発すること。
好物：イカナゴ
特技：飛ぶことより泳ぐ方が得意。
性格：帽子が好きで、甘エビ以外にもいろいろな被り物を探している。子供と遊ぶことも好き。ペンギンと間違えられるが実はオロロン鳥。



道の駅でひと休み

「道の駅ほっと♡はぼろ」「北海道海鳥センター」

羽幌町

道の駅ほっと♡はぼろ

メイン施設の「はぼろ温泉サンセットプラザ」には、天然温泉があり、展望ラウンジからは天売島・焼尻島など日本海が一望できる。

住 苫前郡羽幌町北3条1丁目29番地

☎ 0164-62-3800

営 売店……………7:00~22:00

レストラン…11:30~15:00/17:30~21:00

軽食販売…13:00~20:30

甘エビの水揚げ量日本一を誇る羽幌町。ここでしか食べられないご当地メニューの「えびタコピザ」は、甘エビと水ダコをチリソースであえたピロシキ風の一品。とろけたチーズとえびタコのプリプリ食感をアツアツの揚げたてで味わおう。



↑道の駅でスタンプを押して応募しよう!
(P15参照)



はぼろバラ園

6月末に羽幌町的一大イベント「甘エビまつり」の開催地にもなる。(P2参照)

開 5月上旬~10月下旬 (鑑賞期間: 6月中旬~10月上旬)

料 入園料: 無料

P 無料 (100台)



北海道海鳥センター

道の駅に隣接する日本で初めての海鳥の専門施設。天売島を中心とした海鳥の調査・研究・保護などを行い、館内では貴重な海鳥の資料を見ることができ、展示解説・団体向け見学用プログラムもあるので、事前にスタッフに相談を。

住 苫前郡羽幌町北6条1丁目1番地の1

開 4月~10月 9:00~17:00

11月~3月 9:00~16:00

休 月曜日・祝日の翌日・年末年始

料 入館料: 無料

☎ 0164-69-2080





萌か留た 全48種類 黒台紙・茶台紙ののいずれかが選べます

るもい管内 オリジナル花札

下記設置店 (8店舗) で500円お買い上げ毎に1枚もらえます

てしお温泉夕映/道の駅富士見/しよさんべつ温泉 岬の湯
はぼろ温泉サンセットプラザ/とままえ温泉ふわっと
藤田水産/おみやげ処 お勝手屋萌/国稀酒蔵

▼詳細はホームページへ
<http://rumoifan.net/karuta>

11月下旬 留萌市

にしん漬教室

「やん衆にしん漬」でお馴染みの田中青果によるにしん漬教室で、伝統の味を伝授していただける。詳細はお問い合わせを。

場 留萌市海のふるさと館
問 0164-43-6817 (留萌市海のふるさと館)

10月5日(月) 留萌市

懐かしの留萌鑑賞会

昭和の留萌を当時撮影された映像・写真を使ってふり返る。

料 入場・観賞料：無料
時 18:30~19:30
場 おみやげ処お勝手屋萌
問 0164-43-1100 (お勝手屋萌)

10月10日(土) 留萌市

秋のお茶会&おはなし会

勝山社中による秋のお茶会と図書館ボランティア「もこもこ」によるおはなし会。

料 入場：無料
時 お茶会11:00~13:00 おはなし会13:00~
場 留萌市海のふるさと館
問 0164-43-6677 (留萌市海のふるさと館)

7月4日(土)~10月25日(日) 増毛町

2015 ましげTownスタンプラリー

リングや日本酒など、増毛の特産品が当たるスタンプラリー。増毛町内の55参加店と29果樹園で実施(参加店(園)のぼり旗が目印)。スタンプラリー台紙は増毛町内の各参加店や参加園でゲット。スタンプ2個以上で応募可能。抽選の応募をせず、その場で当たる! お楽しみくじ引きもある。

期 2015年7月4日(土)~10月25日(日) 問 0164-53-2319 (増毛町商工会)

6月20日(土)~11月3日(月・祝) ※11月4日(水)消印有効 留萌管内

シーニックバイウェイ北海道 萌える天北オロロンルート 道の駅・シーニックカフェスタンプラリー2015

留萌管内道の駅全6箇所とシーニックカフェ全5箇所が対象のスタンプラリー。各賞応募者には抽選で留萌管内の特産品をプレゼント。

【留萌管内道の駅(全6箇所)】
道の駅 てしお/道の駅 ☆ロマン街道しよさんべつ/道の駅 風Wとままえ/道の駅 富士見 道の駅 ほっと・はぼろ/道の駅 おびら鯨番屋

【シーニックカフェ(全5箇所)】
レストランとんがりかん/レストラン 北極星/ラウンジWindmill/千望台 景食ハウス/喫茶ポルク

実施期間：2015年6月20日(土)~11月3日(月・祝) ※11月4日(水)消印有効
スタンプシートは対象道の駅で配布。HPからもダウンロードできます。
HP <http://rumoiclub.net/ororonstamp2015>

10月13日(火)~15日(木) 札幌市

オロロンラインオータムフェスト in AKA-RENGA

最北の果物や地酒、漁獲量日本一の甘エビ、ルルロソバスタなど、留萌地域の食をPRする3日間。ゆるキャラにも会える。

時 13・14日10:00~16:00 15日~15:30
場 北海道庁赤れんが庁舎前庭
問 0164-42-8443 (留萌振興局商工労働観光課)

10月17日(土) 留萌市

海のふるさと館寄席2015

「三遊亭歌の多」さんと「柳家小菊」さんの女性二人が織りなす寄席ワールドへ行ってみよう。

料 前売券2,000円/当日券2,500円
時 開場17:30/開演18:00
場 留萌市海のふるさと館
問 0164-43-6817 (NPO法人留萌観光協会)

10月21日(水) 留萌市

郷土学習講座

留萌に研究所が作られた北海道 人造石油の軌跡をふり返る。

料 受講料：無料
時 18:30~20:00
場 留萌市海のふるさと館
問 0164-43-6817 (NPO法人留萌観光協会)

10月25日(日) 留萌市

海のふるさと館感謝祭 2015

来館者に感謝を込めて、秋の新そばやラウンジコンサート、ほかにも様々な企画が用意されている。

料 ラウンジコンサート：無料
新そば：500円
場 留萌市海のふるさと館
問 0164-43-6677 (留萌市海のふるさと館)

10月25日(日) 10月31日(土)~11月1日(日) 遠別町

町民文化祭

遠別町町民による文化祭。芸能発表部門と作品展示部門の二つのテーマで町民が催しものを発表する。そのほかにもフリーマーケットやバザーなどが開催される。

●芸能：10月25日(日)
●展示：10月31日(土)~11月1日(日)
場 遠別町生涯学習センター マナビィ・21
問 01632-7-2353 (遠別町民文化祭実行委員会)

10月25日(日) 留萌市

よりみちの駅フェスタ2015 with住まいのリフォームセミナー

特産品販売、留萌仕事体験、抽選会にリフォームセミナーまで、さまざまなイベントが盛りだくさん。

時 10:00~13:30
場 留萌合同庁舎1階道民ホールほか
問 0164-42-8402 (留萌振興局)

「秋の展示」 札幌グランドホテルでのシーニックPR

期間：9月8日(火)~11月中旬まで
場所：札幌グランドホテル 別館1F 「アートステージ」

※ラウンジバー「オールドサルーン1934」入口付近

展示内容 ●オロロンまっふ (留萌管内すべて)
●るもい食楽歩vol.13・vol.14
●道の駅スタンプラリーシート

年4回 展示転換

次回は「冬の展示」は11月中~2016年3月末頃に開催予定

札幌千カホ北2条デジタルサイネージで 留萌管内PR映像放映中!!

2015.3.1~10.31 配信期間 毎時33分~39分 ※8時、17時、18時を除く



アクセス情報

留萌管内のアクセス案内

J R JR留萌駅 TEL 0164-42-0640

バス 北海道中央バス株 留萌ターミナル
TEL 0164-42-2073
札幌ターミナル
TEL 011-231-0500

沿岸バス株 羽幌本社ターミナル
TEL 0164-62-1550
留萌営業所
TEL 0164-42-1701

てんてつバス株 TEL 0164-42-0620

フェリー 羽幌沿海フェリー(株) TEL 0164-62-1774
FAX 0164-62-5231

自動車・バイクの道路アクセス

札幌市▶増毛町

●海沿い:国道231号経由 115km (2時間29分)

札幌市▶留萌市

●国道275号経由 136km (3時間5分)
●道央道~深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由
156km (2時間7分)

新千歳空港▶留萌市

●道央道~深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由
190km (2時間20分)

旭川市▶留萌市

●国道12号経由 78km (1時間39分)
●道央道~深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由
92km (1時間20分)

稚内市▶天塩町

●海沿い:道道106号経由 68km (1時間8分)
●幌富バイパス経由 71km (1時間8分)



るもい食楽歩ホームページ
<http://rumoiclub.net>

るもい食楽歩 検索



るもいWEBCM
『るもいであいました。』
<http://rumoiclub.net/webcam>



留萌管内合体機獣
オロロンロボ メビウス
<http://rumoiclub.net/ororonrobo>



るもいファンクラブ

るもいの魅力を伝えるメンバー(会員)
募集中!! 会費・入会金無料!!
<http://rumoifan.net>



FMもえる 76.9MHz

朝の情報番組内で北海道内5局に
留萌のイベント情報を発信中!
<http://moeru.fm>

発行・編集

留萌観光連盟

【事務局】北海道留萌市船場町2丁目 JR 留萌駅2F (株)エフエムもえる内

TEL(0164)42-3871・FAX(0164)42-2200